

献 辞

このたび小森瞭一先生が古稀をお迎えになるにあたり、お祝いとして記念論文集を刊行することになりました。

先生は1936年に京都市にお生まれになり、同志社中学校、同志社高等学校、同志社大学経済学部を卒業後、同志社大学経済学研究科に入学されました。その後、1962年に同志社大学経済学部助手に採用され44年の長きにわたって経済学部の発展のためにご尽力くださいました。この間、学生主任、就職委員などの要職を務められ、経済学部だけでなく、大学の運営にもご貢献されてきました。現在、経済学部スタッフが教育・研究に打ち込めるのも先生のお力なしにはありえなかったであろうと思われます。

先生のご専門は減価償却に関する研究で、数多くの業績を残されております。長年のご研究は実を結び、2001年に経済学博士の学位を同志社大学より授与されています。先生は学部教育だけでなく、大学院教育にも力を注がれてきました。とりわけ、大学院の専門職コースでは多くの院生が先生の下から巣立っていき、現在実業界や学会などで広く活躍しています。

先生は、日本公認会計士第二次試験および第三次試験に合格され、その後監査法人の設立にご尽力されています。さらに、先生は現在進んでいる日本の会計士業界の国際化をいち早く認識され、1982年にアメリカ公認会計士協会統一CPA試験に合格されています。このように、日本の会計士業界の発展に大きく貢献されました。

この3月で先生は定年を迎えられます。同志社大学では先生のご功績に対して、名誉教授の称号をお贈りすることになりました。先生の今後のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

2006年1月

経済学部長 伊多波 良 雄